

# 地震発生!

授業時間中	休憩時間中	放課後及び休日の活動中	登下校中	校外活動中	休日
-------	-------	-------------	------	-------	----

ホームルーム教室 特別教室	体育館棟 グラウンド	本館、体育館棟 グラウンド	本館、体育館棟 グラウンド		
------------------	---------------	------------------	------------------	--	--

**一次対応**：身の安全確保・出口確保・状況把握に努める ※火災発生時は消火活動

<b>授業担当者</b> ・机、カバン、防寒具等で頭部を防御し、低姿勢で揺れがおさまるまで待つように指示。 ・火気使用器具の始末。 ・人員点呼を行う。	<b>授業担当者</b> ・窓や壁際、体育施設、器具類から離れるように指示し、中央部等安全な場所に集合させ、低姿勢で揺れが収まるまで待つ。 ・人員点呼を行なう。	<b>全教職員</b> ・放送や大声で、窓や壁際から離れさせ、揺れが収まり次第、教室に入るよう指示をする。 ・担任は教室に行き、人員点呼を行う。	<b>部活動顧問等</b> ・窓や壁際、体育施設、器具類から離れるように指示し、中央部等安全な場所に集合させ、低姿勢で揺れが収まるまで待つ。揺れが収まり次第、近くの教室に入らせる。 ・人員点呼を行う。
--	--	--	--

1分以上揺れたら  
3階以上の建物に避難し  
6時間以上待機

# 津波警報発令!

**二次対応**：4階避難場所へ生徒誘導。4階各避難場所、避難誘導路を開錠  
校長（対策本部長）の指示により、4階に対策本部、3階に地域本部設置  
地域住民受け入れ。生徒指導室在室者は、地域避難住民誘導にあたる。

<b>授業担当者</b> ・4階避難場所へ生徒を誘導（出席簿携行）し、人員点呼を行う。 ・担任へ引継ぎ後、本部へ行き、本部長の指示に従う。	<b>担任</b> ・4階避難場所へ生徒を誘導（出席簿携行）し、人員点呼を行う。	<b>部活動顧問等</b> ・4階避難場所へ生徒を誘導し、部員名簿等で人員点呼を行う。
---	---	--

**三次対応**：校長（対策本部長）の指示により、各自の役割に応じた行動をとる。  
教頭1は対策本部で本部長を補佐。教頭2は地域本部で地域避難住民対応。首席は情報収集。

<b>首席</b> ・テレビ、ラジオ、携帯電話、パソコン等で情報収集にあたる。	<b>生徒指導部・特別活動部主任</b> ・自身の安否報告。 ・正門・南門で地域避難住民誘導にあたる。 ・本部長の指示で撤退し、3階で地域避難住民対応にあたる。	<b>保健部主任・養護教諭</b> ・自身の安否報告。 ・4階で生徒及び教職員の傷病者対応にあたる。	<b>担任以外の教員</b> ・自身の安否報告。 ・本部長の指示により、それぞれの任務にあたる。	<b>担任</b> ・学年主任による安否確認 ・生徒の心理的動揺の沈静に努める。余震に注意する。	<b>学年主任</b> ・自身の安否報告。 ・学年の生徒、担任の安否および負傷状況等を本部長に報告する。
--	---	--	--	--	--

・原則6時間学校待機。可能ならば、HP、メールで安否、待機状態を連絡。  
 ・警報解除後、交通手段等の情報を元に本部長の判断にて帰宅指示。可能ならば、HP、メールで安否、待機状態を連絡。

引率責任者（管理職、管理職が不在のときは学年主任）

- ・建物、地理等に不案内であるため心理的動揺をきたしやすいため、事前に災害リスクについて調べておく。
- ・事前に災害リスクについて調べておく。
- ・身的安全を考え、高い建物に避難する等各自で対応する。
- ・学校にいる教職員は、学校近くの生徒を速やかに校内に誘導する。
- ・校内にいる生徒は、教室に集合するように指示する。
- ・保護者に連絡できる方法があれば、学校で保護している旨連絡する。
- ・引率責任者は、校長の指示により行動する。可能ならば、HP、メールで安否等状況を連絡。
- ・震度5弱以上の場合、生徒から学校にFAXまたはメール送信させることで安否確認を行う。
- ・学校再開後、安否確認のとれない生徒に対しては、電話連絡・家庭訪問等で安否確認を行う。
- ・あらかじめ送信内容と連絡先を知らせる。

引率責任者

- ・校長に生徒・教職員の安否及び状況報告。

引率責任者は、校長の指示により行動する。可能ならば、HP、メールで安否等状況を連絡。